



あっぷねす

発行：弘前大学生協本部
〒036-8224 弘前市文京町1番地
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
2022年9月15日 第146号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.146

放 置 自 転 車 回 収

開催日：6月11日(土) どいてよPOP貼り・6月18日(土) 第1回目・7月3日(日) 第2回目
参加者数：1回目31名・2回目37名 回収台数：127台

開催目的

弘前大学からの依頼により、生協学生委員会が回収活動をしています。毎年およそ200台の自転車が学内に放置されるため、1年に1回収活動をし、学生が駐輪場を利用しやすい環境づくりをしています。また、盗難自転車がないかの確認もしています。

両日とも30℃近くある暑い日でした。朝9時に集合し、3、4人のチームで12エリアの駐輪場に分散し作業が始まりました。第1回目は放置と見られる自転車をエリアの一画に移動させる作業です。第2回目はエリアごとにまとめた自転車を教育学部駐車場の脇に集積しました。鍵がかかった自転車は、後輪を持ち上げて長い距離を移動させなくてはなりません。大変な力仕事になりますが、汗を拭いながら一生懸命作業しました。



自分のエリアが終わった後は、他のエリアへ応援に行くチームも多かったです。参加者同士で談笑しながら作業する様子も多く見られました。参加者の皆さんの頑張りやチームワークで、予定より早い11時頃に無事作業を終えました。

生協学生委員会 保健学科3年 佐々木華穂



【参加者感想】

- あんなに放置自転車があるとは思っていなかった。放置自転車があることで駐輪のスペースをかなりとってしまっていたため、良い企画だと思った。
- 協力して活動することで予定よりも早く終わって良かった。疲れたけど楽しかった。



放置自転車回収作業は弘前大学からの委託をうけ、弘前大学生協が行っています。

回収された自転車は防犯登録番号や特徴をリストに控えています。リストを警察に提出し、盗難車の有無の確認を行いました。(盗難届がでていた自転車はありませんでした)

もし、自分の自転車が誤って回収されていた場合は、業者に引き渡す前であれば集積場所に掲示している案内に従って手続きをし、持ち出す事ができます。引き取りのない回収した自転車は処理業者に自転車を引き渡します。

議決事項

第1号議案 学生アルバイト(学生スタッフ)の就業規則と通勤手当

第2号議案 個人情報保護規則の改定

第3号議案 弘前大学生協同組合 個人情報保護方針の改定

第1～3号議案については、全会一致で可決承認されました。



協議事項

第4号議案 第61回通常総代会 振り返り

来期に向けた課題について提案があり協議しました。

この議案については、「議案書の電子化」「総代会をオンライン開催や対面とオンラインの併用開催」という意見が多く見られました。また、総代を継続してくれる人を増やすために学生委員会でおこなっているREPセッションが鍵になりそうだという意見がありました。

この議案については、来期総代会にいかしていくこととしました。



第5号議案 弘大生協創立60周年記念事業

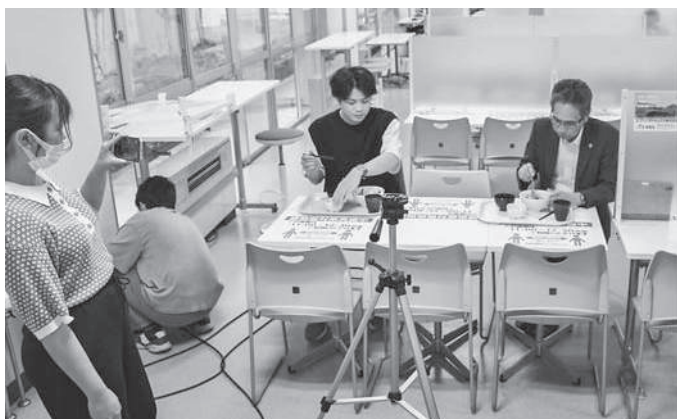
2023年に創立60周年を迎えるにあたり、記念事業の計画について協議しました。

この議案については、組合員全員が参加して「モザイクアート」など何か作品を作る、ギネス記録に挑戦するというイベントや、地元企業と提携して記念のお酒やりんごジュース、和菓子などを作るという記念品製作の意見がありました。他にも、講演会の開催、復刻メニューや60周年記念メニューの提供、バーチャル生協、和楽器体験会などさまざまな案がありました。

この議案については、次回以降も継続して協議していくこととしました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

学長メッセージ動画作成 (学生委員会)



弘前大学オープンキャンパス2022の動画紹介「学長メッセージ」を学生委員会で作成させていただきました。図書館でのインタビュー、総合教育棟でのお話、食堂Horestでの100円夕食の様子など撮影し動画としてまとめたのですが、エンドロールに載せたメイキングのほうが学長先生の親しみやすさが伝わるものになりました。来年も機会があればよりよいものを作成したいです。



(上) 学長100円夕食初
実食!

(右) 実際に100円夕食
の列に並びました。
周りの学生は「福
田学長」と気づい
ていない!?



弘前大学オープンキャンパス2022

開催日：8月8日(月) 大学会館前広場
9日(火) WEB対話方式

なんでも相談では、総合型選抜の対策方法や、高校生のうちにしておくべき勉強などの受験対策に関することや、大学に合格してからの部活・サークルのこと、自動車免許のこと、一人暮らしに関する事などの相談がありました。そのほかにも、弘前大学に来てから出会いはあるのか、や恋愛相談など多岐にわたる相談に応えました。



住まい相談 参加51組



なんでも相談 参加114名



2日間「なんでも相談」を行って、「高校生の不安や悩み、また教師に対する思いを聞いて自分ももっと頑張ろうと思えた」「後輩と会えてうれしかった」「高校生が若々しくて楽しかった」「誰かの悩みを少しでも解消できたことがうれしくて楽しかった」という感想が運営メンバーからでました。開催目的は高校生のためですが、自分たちにとっても有意義で大切な時間となりました。

生協学生委員会 理工学部2年 坂本真樹



9日(火)はWEB対話方式での開催。(左) 新入生サポートセンター 主に大学生活に準備するモノ、コトやかかる費用、住まいについてをお話。新入生サポートセンターで手続きができることを伝えました。

(右) 学生委員会「弘大生 presents どこでも相談Radio」学生委員会 主に学生同士のコミュニケーション、大学生活や勉強、サークル等についての質問に答えたり学生委員会から話したりしました。どちらもリアルタイムでチャットでの質問を受け付け、お答えしました。



新入生サポートセンター
参加約80名



弘大生 presents
どこでも相談Radio
参加140名

▶ REPセッション#2を開催しました。(総代の集会)

開催日：6月21日(火) 18:30~20:30 場所：大学会館2階Scorum
参加者数：75名(総代42名・学生委員会26名・職員7名)

開催目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者の間の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させること。



今回のREPセッションは前回よりも多くの総代に参加してもらいました。Horestの山田さんより食堂の3~5コマ(アイドルタイム)の利用者を増やすための取り組みをお話してもらい、

それをもとに意見回収を行いました。普段から使う食堂ということもあり、実際に使ってみての感想や使いやすくするための提案など様々な意見が出ました。

今回から前期意見回収企画が始まり、「食堂のアイドルタイム利用を増やす」というテーマのもと意見交流を行っていきます。前回のREPセッションで行った空きコマ利用調査の結果をもとに、各班で利用が増える方法を考えてもらいワークシートに記入してもらいました。学年の垣根を越えて積極的に話し合いができました。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 篠崎美沙



環境活動 (学生委員会 花壇)

目的

- ① 大学内の花壇に花を植え、定期的に水やりを行うことでゴミのポイ捨てを防止するとともに、景観の向上に努める。
- ② 環境や自然に興味関心をもってもらおう。

今年の花壇活動は4月の花壇整備から始まりました。教育学部棟駐車場入り口の花壇に植えたままのラベンダーを除去する作業をしながら「どんな花を植えたいか」など話し楽しく活動できました。

「ポイ捨て防止」や「環境、自然への興味関心をもってもらおう」ため、水やりやポスター掲示、TwitterやInstagramへの花の成長過程の投稿など、継続的に活動し呼びかけを続けていきます。

バーベナ、マリーゴールド、ベゴニア、ミリオンベル、ミニひまわりを植えています。どこになんの花があるかわかりますか？



▶ REPセッション#3を開催しました。(総代の集会)

開催日：7月5日(火) 18:30~20:30 場所：大学会館2階Scorum

参加者数：67名(総代35名・学生委員会25名・職員7名)

開催目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、正規職員・学生委員会に直接届ける場所を設けること。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者の間の隔たりを無くし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにし、総代活動を活発化させること。



今回のREPセッションは前回よりも多くの総代に参加してもらいました。たびshopの上遠野店長よりたびshopの取り組みを紹介していただきました。

たびshopを利用したことがない総代が多く、事後アンケートでは今後ぜひ活用したいという声が多かったです。

今回の意見回収は7月4日より5日間行われた生協七夕まつりについて行いました。食堂の七夕限定メニューなど、各生協店舗で行われた企画に対し感想や今後の企画への期待の声が集まりました。意見回収企画の時間では、前回集めた「アイドルタイム中の食堂の利用を増やす方法」を環境、企画、食の3つのジャンルに分け、それをもとに企画書を書いてもらいました。席の配置を変える、クーポンを発行する、勉強のためのエリアを作るなど各班で様々な企画を考えました。

3回目のREPセッションということもあり、自分から意見を積極的に出す総代が多くみられました。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 篠崎美沙



環境活動

(学生委員会 生協オリジナル弁当容器・割りばし・ペットボトルキャップ回収)

「ゴミ」ではなく「資源」として活用しましょう。回収にご協力をお願いいたします。

ゴミを持ち歩きたい方はあまりいないかと思います。そこで学内に回収BOX設置させてもらっていますが生協オリジナル弁当容器はそのままゴミ箱へ捨てられていることが多いです。

「資源」として活用するために回収にご協力をお願いいたします。
※生協オリジナル弁当容器は生協全店舗でも回収しており、1個につき10円返金しています。

英会話 講座 ACE

ACE (Active Campus English) とは…1年間通して行い、英語での実用的なコミュニケーション力を身につけることを目的としています。ACEは、講師がネイティブスピーカー！だから参考書には載っていない表現や活きた英語に触れられるのはもちろんのこと、英語だけではなく海外の文化、英語を通して日本のことを知ることもできます。そして何よりもキャンパス内で自分の授業の空き時間に受講ができる！ACEは弘大生のためだけにつくられた講座です。



受講人数：181名

講座 Lesson：5月9日(月)～7月15日(金)
各曜日週1回70分×10コマ

講座では感染症対策をしっかりとうえて、2年ぶりにパーティーを外したところ受講生間の見えない壁もなくなり活気のあるLessonになりました。



今年の4月から仲間が増えました！私たちと一緒に受講生のサポートをしてくれている2年生スタッフです。どうぞよろしくお願ひします！
(左からRyan、Yu、Yume、Kotoko、Michihiro)

Online異文化交流 in フィリピン

DAY1：4月23日(土)・29日(金)・30日(土)

DAY2：8月6日(土)・9日(火)・10日(水)

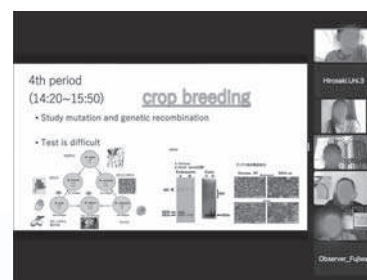
それぞれの日程でいずれか1回(2時間45分)のプログラムに参加

今年度は講座開講前の4月と前期終了後の8月に「Online異文化交流 in フィリピン」を福島大学と合同で実施し、日本人サポーターを交えフィリピンILOILO市の学生さんたちと交流を行いました。

DAY1では主にお互いの自己紹介とおすすめの食べ物をテーマにして説明や質問等、日本語でも英語でもまずは自分の言葉で発言できるように、各グループのサポーターが全面協力しながら進めました。DAY2では自分でサポーターからの協力を3段階から選べるようにし、交流にチャレンジ。フィリピンの学生から「大学生活」や「抱えている現状(貧困等)」について話してもらい、感じたことを伝えました。

ACEは1年間を通して学ぶ講座ですが、終了すると英語から離れてしまう学生も少なくありません。学び、経験するのに大学生が一番適した時期です。講座は1年間のみですが学生の学びの機会をこれからもサポートしていきます。

SHAREA店 ACE担当 小島優子



【参加者感想】

DAY1では学べなかったフィリピンの抱える問題について知れたのと、人数が少なかったのでたくさん話す機会があって、難しかったけど楽しかったです。

異文化交流はなかなか機会がないことだと思っているので、すごくいい時間でした。2回にわたってイロイロ市について学んで1番に思ったのは実際に見てみたいというものでした。英語をもっと勉強して、いつか行きたいです。うまくいかないこともありました、本当に楽しかったです！

応援塾とは…

大学生活では、授業でのレポート課題や実験のデータ処理、卒業論文の制作や発表、就活でのメールのやり取り等、パソコンを使用する機会が多くなります。その一方で、最近はスマートフォンやタブレットが普及し、キーボードやマウス操作よりもフリックやタップに慣れている若者が増えてきています。こうした状況から、新入生のみなさんがパソコンの使い方に困ることなく、充実した大学生活を送っていただけるようこの講座を開講しています。

弘前大学生協では、大学卒業後もパソコンをしっかり使いこなせる人材を輩出できるよう支援しています。



受講人数：523名 学生スタッフ：48名

講座期間：

4月11日(月)～15日(金) ガイダンス

4月18日(月)～22日(金) 第1回

5月9日(月)～7月1日(金) 第2回～第9回

今年度のプログラムでは、レポート作成やプレゼン発表など、実際に大学生活で使用する場面を想定し、Officeを中心としたパソコンスキルの講義・ワークを実施しました。

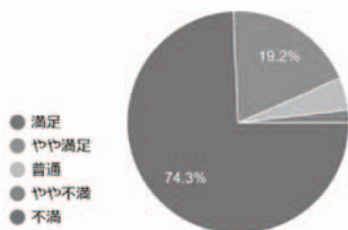
中にはパソコンに触れたことがなく、不安そうな表情をしていた受講生もいましたが、学生スタッフと一緒に回数を重ねる内に、スキルの向上と共に笑顔が見えるようになりました。積極的に受講してくれたことももちろんですが、学生スタッフ一人一人が親身に受講生と向き合えたことが、22年度応援塾を無事に終えられた一因だと思います。

次年度はより弘前大学の学生に求められるパソコンスキルは何かを学生スタッフと追求し、よりよい応援塾を作っていきます。

SHAREA店 応援塾担当 佐藤・藤田

(2-1)応援塾の満足度を教えてください。

323件の回答



【受講生感想】

応援塾を通して、大学生活で必須となるパソコンスキルの土台を築くことができました。私は入学時点でパソコンに関する知識が全く無かったのですが、大学で問題なくパソコンを使うことができている。また、パワーポイントの作り方など1年生のうちを知っておくと強い知識をたくさん得ることができます！受講生同士や先輩との交流を広げることもでき、毎回の講座が楽しかったです。

(人文社会科学部1年)

【スタッフより】

私は今年、たくさんの受講生と関わりを持つことができました。特に今年は、班内での友達作りを楽しんでいる子や、スタッフである私と仲良くしてくれる子が多かった印象があります。パソコンを教えることの他に、コミュニケーションも大事にしている応援塾としては、かなり良い雰囲気で開催を行い、無事終わりを迎えられたと感じています。今年の良さも活かし、さらに良い講座づくりに今後も励んでいきたいです！

(人文社会科学部3年)



学生総合共済からのお知らせ

7月の給付状況

病気入院	3件
病気手術	5件
事故入院	17件
事故手術	2件
事故通院・固定具使用	5件
こころの早期対応	3件
本人死亡	1件
親扶養者死亡	1件
計	37件

給付金額

3,322,000円

たすけあいアンケートより

〈スポーツ事故〉

「普段からケガをしないように心がけるのはもちろんのことですが、久しぶりに体を動かすときは徐々に慣らしていくことが大切だと思います。」

(部活動中、右足の太ももが肉離れ。)

通院1日 共済金2,000円

*G1200コース加入者の給付件数を掲載しています。



共済アンケート

2021年4月～2022年3月に学生総合共済の給付をうけた弘大生の保護者さまにアンケートを実施しました。ご返送いただいた中からいくつかをご紹介します。



病気知らずの娘でしたので共済への加入は迷いましたが、一人暮らしをきっかけに加入しました。まさかの2度もお世話になることになり、加入して良かったと実感しております。申請もスムーズで何より学内にある相談窓口が学生には安心だと思います。

バイト先でのケガで通院が数回かかりそうでしたので心配しましたが、学生総合共済の給付対象となるか確かめた後は一安心しました。学生の幅広い活動に対して手厚くカバーしてくれているとあらためて感じました。加入手続きは入学時に丁寧に説明してもらったうえで済ませることができましたし、今回の給付申請についても娘が大学の空き時間に済ませることができて大変たすかりました。



学生の皆さんへ「申請忘れ」がないかお声がけください。

学生総合共済は9割を超える弘大生が加入しています。学生総合共済は大学生活にあった保障内容で学生の声や給付状況をもとに制度の見直しをしながら今の大学生活に合うように制度設計をしています。2019年の制度改定で「こころの早期対応保障」もでき、重症化する前に早めの受診につながるようになりました。

病気入院やケガで入通院した学生の方が近くにいましたら「共済の申請忘れ」はないかお声がけをお願いします。

学生総合共済 相談窓口：たびshop(文京町)・FERIO(本町)

編集後記



(上)「弘大囃子組」と
(右)「弘前大学津軽三味線サークル」

7月末～8月初めにかけてSHAREA店内で「じゃわめぐミニコンサート」を開催し津軽らしい三味線と囃子の音色が店内に響きました。今年は3年ぶりに「弘前ねぶた祭」が開催され、「はじめてねぶたを見た！」という学生もいたと思います。学ぶための大学進学、百聞は一見に如かずというように「経験」も学びに含まれると思います。感染対策はもちろんしながら学びの機会やこうした発表の場を作っていきたいです。(SHIMO)